

医療専門職支援人材確保支援事業 報告書（抄）

第1章. 本事業の背景と目的

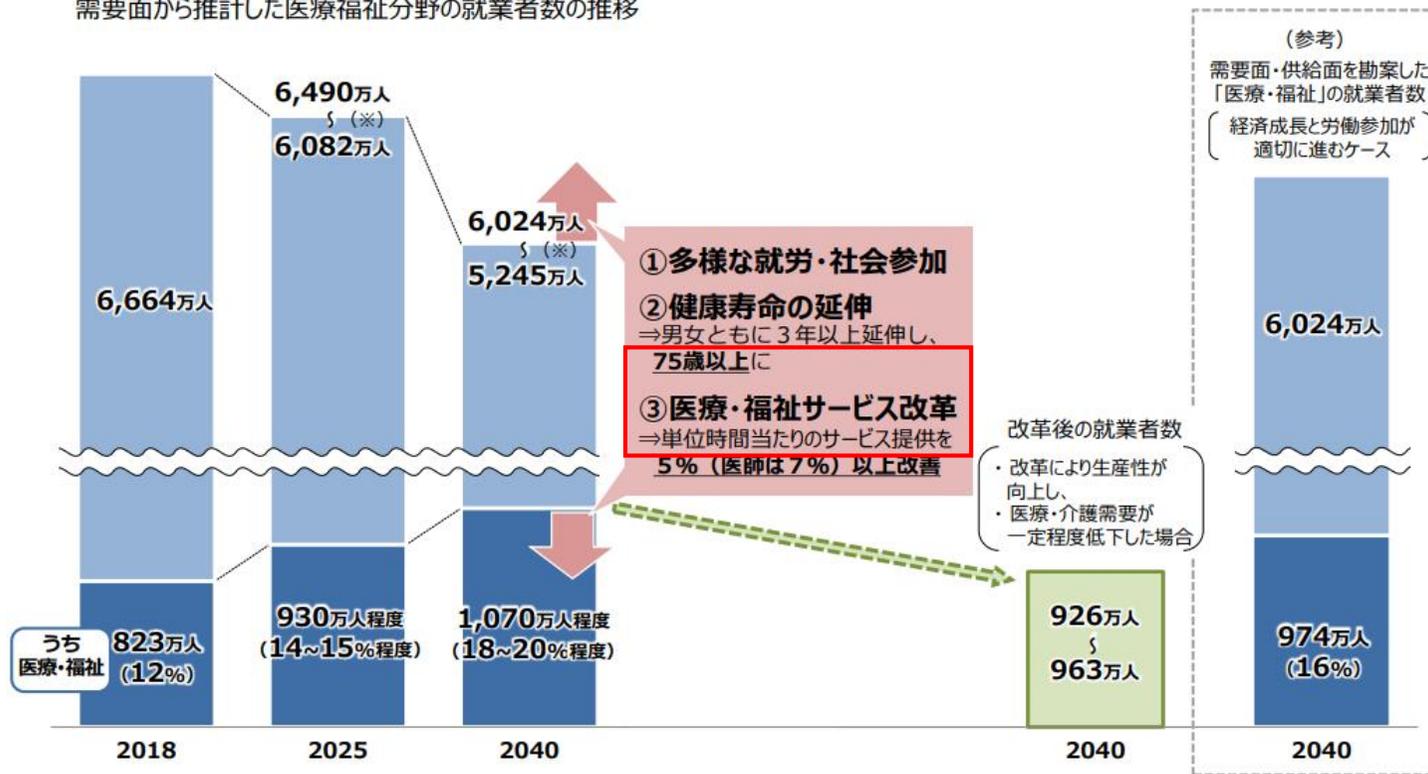
1. 本事業の背景・目的 参考資料

2040年の就業者数

2040年を展望すると、現役世代の急減により、より少ない人手でも回る医療・福祉の現場を実現することが急務であり、5%以上の改善目標を達成していく必要があります。

2040年に向けたマンパワーのシミュレーション（平成30年5月21日）の改定

需要面から推計した医療福祉分野の就業者数の推移



※総就業者数は独立行政法人労働政策研究・研修機構「労働力需給の推計」（2019年3月）による。
総就業者数のうち、下の数値は経済成長と労働参加が進まないケース、上の数値は進むケースを記載。

出所：「2040年を展望した社会保障・働き方改革本部のとりまとめ」について（厚生労働省、令和元年5月29日）

1. 本事業の背景・目的 参考資料

2040年の就業者数

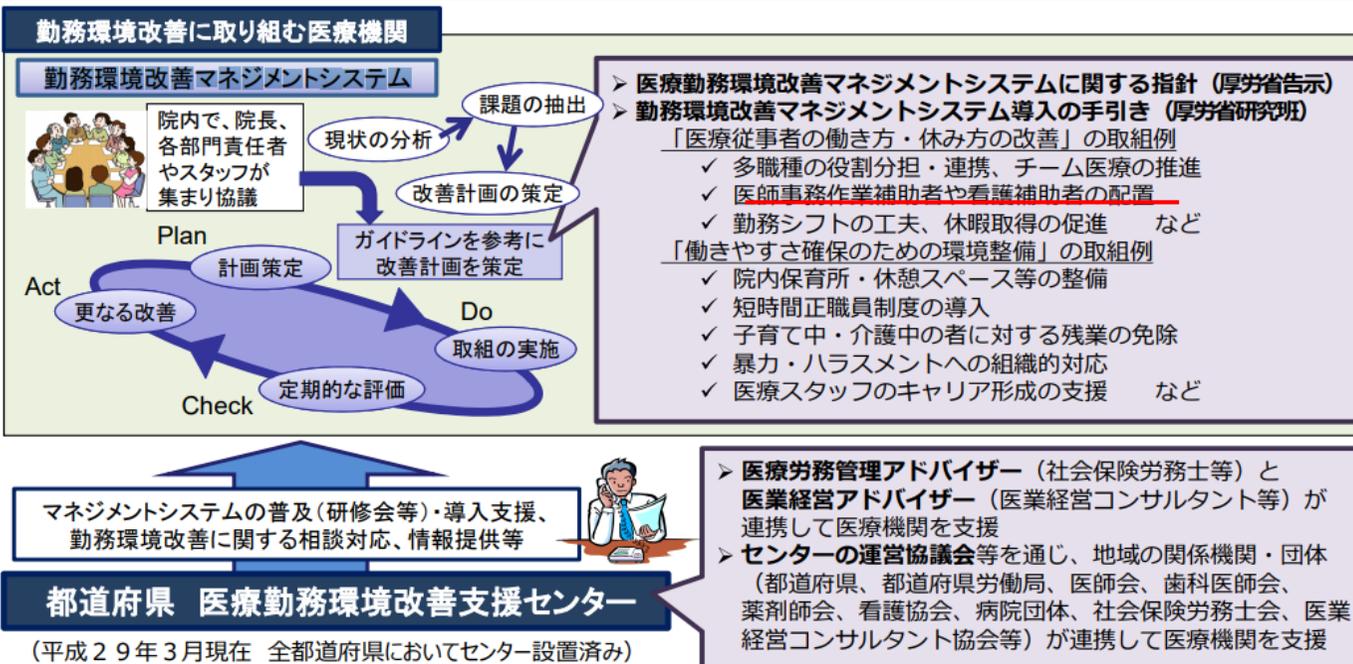
医療従事者の勤務環境改善促進の取組の1つとして、医師事務作業補助者や看護補助者の配置が挙げられています。

第4回医師の働き方改革に関する検討会(平成29年11月10日)資料1 改

医療従事者の勤務環境改善の促進

医療従事者の離職防止や医療安全の確保等を図るため、改正医療法(平成26年10月1日施行)に基づき、

- 医療機関がPDCAサイクルを活用して計画的に医療従事者の勤務環境改善に取り組む仕組み(勤務環境改善マネジメントシステム)を創設。医療機関の自主的な取組を支援するガイドラインを国で策定。
- 医療機関のニーズに応じた総合的・専門的な支援を行う体制(医療勤務環境改善支援センター)を各都道府県で整備。センターの運営には「地域医療介護総合確保基金」を活用。
- ➡ 医療従事者の勤務環境改善に向けた各医療機関の取組(現状分析、改善計画の策定等)を促進。



出所：第4回医師の働き方改革に関する検討会(厚生労働省、平成29年11月10日)

1. 本事業の背景・目的 参考資料

医師事務作業補助体制加算の状況

医師事務作業補助加算は、病院の規模が大きいほど算定の割合が高い傾向がありますが、近年は中小規模の病院でも「医師事務作業補助体制加算1」の割合が増加傾向にあり、人材ニーズが高まっていることを示しています。

施設調査の結果④

＜医師事務作業補助体制加算の届出状況＞（報告書p40）

平成30年10月1日時点の医師事務作業補助体制加算の届出状況をみると、平成29年10月1日時点と比べて「医師事務作業補助体制加算1」の割合が35.5%から37.3%と、1.8ポイント高くなっていた。同様に、病床規模別にみると、99床以下の施設では2.0ポイント、100～199床の施設では3.6ポイント、200～399床の施設では1.1ポイント高くなっていた。

医師事務作業補助体制加算

医師事務作業補助体制加算1

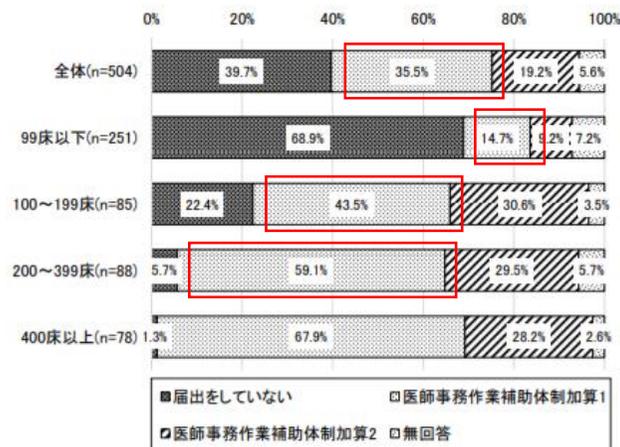
医師事務作業補助者の延べ勤務時間数の8割以上の時間において、医師事務作業補助の業務が病棟又は外来において行われていること。

上記以外は、加算1及び加算2の違いはなく、病床あたりの人数で点数が決まる。（その他、緊急入院患者数等の条件あり）

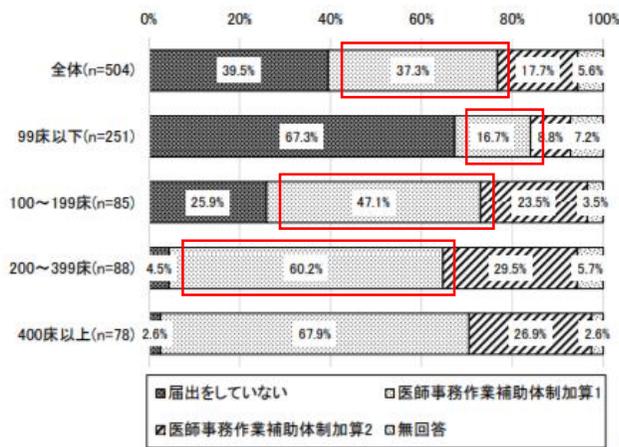
加算1		加算2	
15対1	970点	15対1	910点
20対1	758点	20対1	710点
...			
100対1	248点	100対1	238点

算定は入院初日のみ。

図表1-80 医師事務作業補助体制加算の届出状況（平成29年10月1日）



図表1-81 医師事務作業補助体制加算の届出状況（平成30年10月1日）



出所：平成30年度診療報酬改定の結果検証に係る特別調査（平成30年度調査）の報告書案について（中央社会保険医療協議会 診療報酬改定結果検証部会（第57回））

1. 本事業の背景・目的 参考資料

医師事務作業補助者の配置状況

医師事務作業補助者は外来に多く配置されており、外来診察業務における医師の負担軽減で活躍していることが窺えます。

施設調査の結果⑤

<医師事務作業補助者の配置人数> (報告書p42)

平成30年10月1日時点の医師事務作業補助体制加算の届出状況について、「医師事務作業補助体制加算1」または「医師事務作業補助体制加算2」を届け出ていると回答した施設について、医師事務作業補助者の配置場所別の配置人数をみると、合計平均13.5人のうち、外来に平均8.4人、病棟に平均2.0人、医局・事務室等に平均3.0人が配置されていた。

図表1 - 85 医師事務作業補助者の配置場所別の配置人数(n=264)【全体】

	平均値	標準偏差	中央値
外来	8.4	10.2	4.1
病棟	2.0	4.0	0.0
医局・事務室等	3.0	4.9	1.0
合計	13.5	11.8	10.0

※平成30年10月について「医師事務作業補助体制加算1」または「医師事務作業補助体制加算2」と回答したものについて集計。



医師事務作業補助研究会ホームページより
(済生会栗橋病院の外来診療補助業務)

出所：平成30年度診療報酬改定の結果検証に係る特別調査（平成30年度調査）の報告書案について（中央社会保険医療協議会 診療報酬改定結果検証部会（第57回））

1. 本事業の背景・目的 参考資料

医師事務作業補助体制加算の届出していない理由

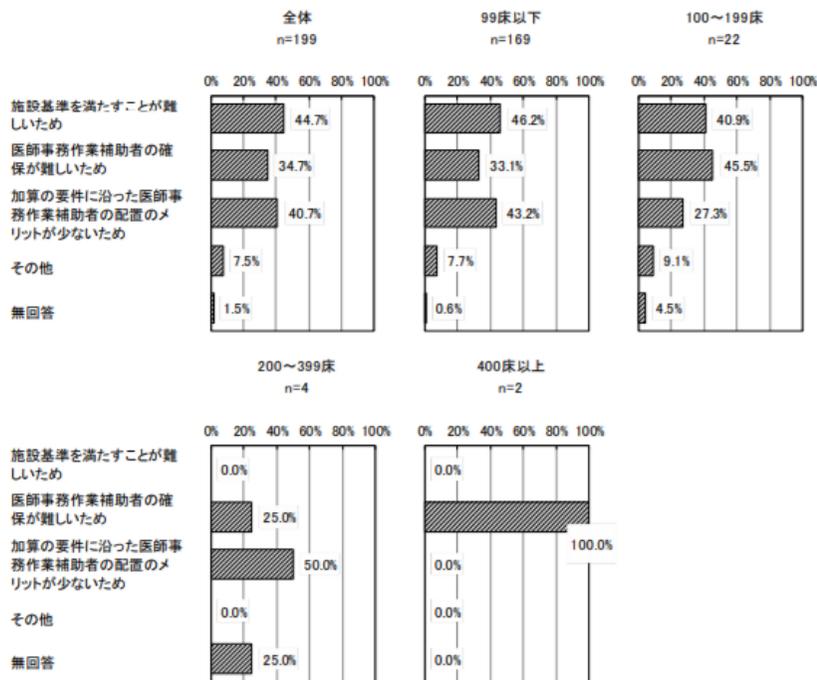
医師事務作業補助体制加算の届出をしていない理由としては、「施設基準を満たすことが難しいため」が44.7%、「医師事務作業補助者の確保が難しいため」が34.7%と、人材の確保が難しいことが最大の要因となっています。

施設調査の結果⑥

＜医師事務作業補助体制加算の届出をしていない理由＞（報告書p46）

医師事務作業補助体制加算の届出をしていない理由をみると、「施設基準を満たすことが難しいため」が44.7%で最も多く、次いで「加算の要件に沿った医師事務作業補助者の配置のメリットが少ないため」が40.7%であった。

図表1-105 医師事務作業補助体制加算の届出をしていない理由（複数回答）



※平成30年10月時点で医師事務作業補助体制加算の「届出をしていない」と回答したものについて集計。

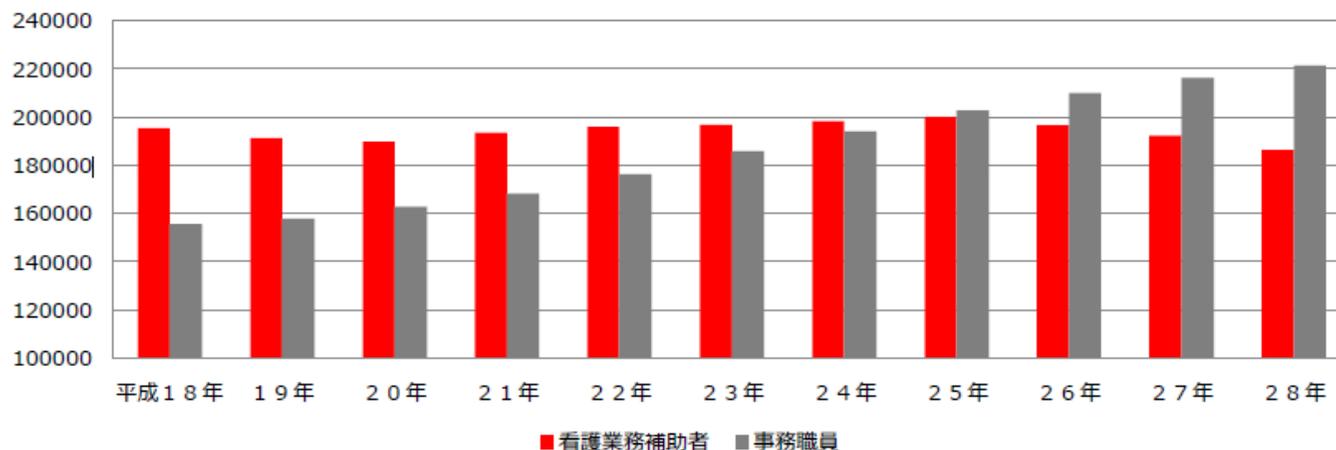
出所：平成30年度診療報酬改定の結果検証に係る特別調査（平成30年度調査）の報告書案について（中央社会保険医療協議会 診療報酬改定結果検証部会（第57回））

1. 本事業の背景・目的 参考資料

看護補助者及び事務職の年次推移

医師事務作業補助者等の事務職員については、年々増加しており、平成28年には22万人を超えています。看護業務補助者については、平成25年に20万人に到達して以降減少に転じ、平成28年には18.6万人にまで減少しています。

看護業務補助者及び事務職員の就業者数年次推移



	平成18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年
看護業務補助者 (人)	195,406	191,324	189,838	193,537	196,073	196,894	198,343	200,106	196,696	192,329	186,300
事務職員 (人)	155,669	157,868	162,736	168,146	176,280	185,825	194,006	202,762	209,955	216,354	221,487

出典：医療施設（動態）調査・病院報告

○看護業務補助者：保健師、助産師、看護師及び准看護師の免許の有無にかかわらず、看護業務の補助業務に従事する者（看護学校などの学生及び生徒は除く）。例えば、看護助手、介護職員等であり、ベッドメイキングや物品の運搬、患者の移送などを行う。

○事務職員：免許の有無にかかわらず主として事務を担当している者（医師事務作業補助者（医療クラーク）、診療情報管理士を含む）。

1. 本事業の背景・目的 参考資料

看護補助者の配置状況

看護補助者を必要量を満たすだけ確保できていない病院は全体で37.3%に上り、その理由は病院の規模に関わらず「募集しても集まらない」ことが要因となっています。

看護補助者の配置状況等について

- 看護補助者の配置状況については、「必要量を満たすだけ配置できていない」と回答している医療機関は37.3%であった。
- 必要量を満たすだけ配置できていない理由は、「募集しても集まらない」が91.5%であった。

医療従事者の負担軽減、働き方改革の推進に係る評価等に関する実施状況調査
(平成30年度診療報酬改定の結果検証に係る特別調査)

【対象】

施設調査：医師事務作業補助体制加算を算定している病院（届出病院）、算定していない病院（未届病院）からそれぞれ750施設を無作為に抽出した合計1,500施設

【結果】

□ 看護補助者の配置状況 (n = 504)

病床規模	回答施設数 (n)	十分配置できている	必要量を満たすだけ配置できていない	無回答
99床以下	251	64.9%	25.1%	10.0%
100～199床	85	61.2%	30.6%	8.2%
200～399床	88	34.1%	59.1%	6.8%
400床以上	78	33.3%	60.3%	6.4%
全数	504	54.2%	37.3%	8.5%

□ 必要量を満たすだけ配置できていない理由 (n = 188)

病床規模	募集しても集まらない	人件費がない	その他	無回答
99床以下	92.1%	12.7%	1.6%	1.6%
100～199床	96.2%	11.5%	3.8%	0.0%
200～399床	94.2%	3.8%	5.8%	0.0%
400床以上	85.1%	14.9%	8.5%	2.1%
全数	91.5%	10.6%	4.8%	1.1%

出所：医療従事者の需給に関する検討会 第9回看護職員需給分科会

第2章. 実施概要

2. 実施概要

④PR動画の作製

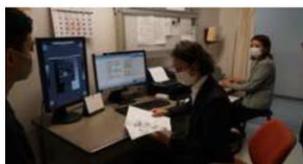
PR動画イメージ

医師事務作業補助者用のPR動画は以下のようなイメージで作製し、以下のリンク先に格納し閲覧できる状態にしました。

<https://www.youtube.com/watch?v=1b2zQ5rdBj0&list=PLMG33RKISnWiywYwNSXwbbUFDJsJZerEs>

令和3年3月1日現在
4,293回視聴

#01 撮影シーン：診察室



▲患者の肩越しで医師とクラークが写っている



▲患者が出た後医師と2人で確認しながらカルテ作成



#02 撮影シーン：カウンター



診察室風のカウンターでカルテを見ながら会話



▲PCを触っている顔のヨリ



▲PC手元



▲患者と会話しながらカルテ作成

#03 撮影シーン：廊下



▲忙しそうに廊下を歩く後ろ姿

#04 撮影シーン：地下事務所



▲地下の事務所で同僚と仕事をする姿



▲手元ヨリ



▲仕事中の同僚との何気ない会話



▲会話中の笑顔ヨリ



▲カルテ整理風景



▲コピー機で書類を作成

2. 実施概要

④PR動画の作製

PR動画イメージ

看護補助者用のPR動画は以下のようなイメージで作製し、以下のリンク先に格納し閲覧できる状態にしました。
<https://www.youtube.com/watch?v=HlFFTJVsrkA&list=PLMG33RKISnWiywYwNSXwbbUFDJsJZerEs&index=2>

令和3年3月1日現在
5,114回視聴

#01 撮影シーン：配膳



▲カーゴを押す



▲カーゴから患者のお膳を出す



▲お膳を持って病室で患者のもとへ



▲名前と患者のタグを確認



▲患者と何気ない会話

#03 撮影シーン：スタッフステーション



▲備品の片付けや準備風景



▲手元ヨリ



▲看護師との打ち合わせ



▲患者を車椅子で押すの介護シーン



【追加】入職後の研修受講シーン 座学で教えてる感じが一目でわかるようにする。

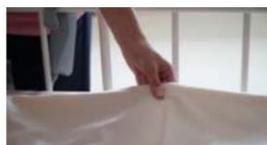
#02 撮影シーン：病室



▲ベッドメイキング中



▲顔ヨリ



▲手元ヨリ

#04 撮影シーン：休憩室でのコミュニケーション



▲休憩中の何気ない会話



▲それぞれの笑顔



2. 実施概要

⑤ポスター、リーフレットの作製

ポスター・リーフレットイメージ

医師事務作業補助者用のポスター・リーフレットのデザインは、職種のイメージができるような写真やQ&Aを掲載しました。

https://iryou-kinmukankyoku.mhlw.go.jp/outline/download/pdf/20210201_1.pdf

表面

「医師事務作業補助者」募集

医療職の免許がなくてもできます

あなたの力が社会を救う

医療チームの一員として活躍する人材を
全国の医療機関が求めています。

経験がなくても大丈夫

キャリアアップできる

医師のサポートをする仕事

医療チームの一員として活躍

あなたにもできる！
病院は、医師や看護師を支える人材を求めています
【PR動画 医師事務作業補助者編】厚生労働省 / MHLWchannel
<https://www.youtube.com/watch?v=1b2z5rd8j0>

厚生労働省
医療専門職支援人材確保支援事業

裏面

いま医療機関では多くの人材を募集しています

『医師事務作業補助者』とは

医師が行う業務のうち、事務的な業務をサポートする職種です。
医師事務作業補助者の名称は医療機関によって「医療秘書」や「医療クラーク」「メディカルアシスタント」「ドクターズクラーク」などさまざまです。

1 医療現場で医師事務作業補助者が求められている背景

医師の業務負担の大きさが長年問題視され、医療の質の担保が重要課題とされています。医師が行っている事務業務の負担を軽減し、診療業務に専念できる環境を作り、医療の質を向上させることを目的として医師事務作業補助者が誕生しました。現在、国が推進する医師の働き方改革において、医師事務作業補助者は欠かせない存在となっています。

2 お仕事内容

業務内容は大きく分けると4つあります。

- ① 診断書や紹介状などの「医療文書」の代行作成
- ② 医師の外來診療や病棟回診などに同席して行う「診療記録」の代行入力
- ③ 院内での会議の準備、手術の症例登録
- ④ 厚生労働省などに報告する診療データの整理

注) 医師事務作業補助者の業務は多岐にわたり、実際の業務は病院ごとの実情によって特色のあるものになっています。

3 医師事務作業補助者になるためには

医師事務作業補助者になるために必要な免許や経験などは、特にありません（複数の民間団体が行う認定試験などがありますが、必須要件ではありません）。そのため、様々な背景の実務者が一緒に働いているのもこの職種の特徴といえます。教育背景や経験よりも、むしろ医師や他の医療スタッフ（看護師や薬剤師など）や事務職員との連絡・調整が頻繁に発生しますので、これらの職種と上手く関係を築くことができる「コミュニケーション力」が何よりも求められる能力といえるでしょう。

Q & A

- Q.なぜこの仕事を選びましたか？
- Q.実際にどんな事をやっていますか？
- Q.楽しいと思う瞬間は？
- Q.やりがいを感じる場所は？

A.ハローワークで医師事務作業補助者という職種があるのを知りました。資格がなくても医師の近くで働く医療スタッフをサポートできるというところに魅力を感じたのがきっかけです。

A.診療室内で医師の隣で電子カルルの代行入力をしたり、医師が診療した後に診断書などの書類の下書きをしたりしています。ほかにも院内での会議の資料を作成することもあります。

A.一般的な事務のイメージとは違い、医師や看護師とコミュニケーションを取りながら仕事をしています。スタッフから「覚えてくれて助かるよ」の言葉はいつも助かります。

A.患者さんや医師たちとの関係性となることで、皆の業務が円滑に運ぶこと、私もチーム医療の一員なんだと感じることができて、また頑張ろうと思えます。

あなたにもできる！
病院は、医師や看護師を支える人材を求めています
【PR動画 医師事務作業補助者編】厚生労働省 / MHLWchannel
<https://www.youtube.com/watch?v=1b2z5rd8j0>

厚生労働省
医療専門職支援人材確保支援事業

2. 実施概要

⑤ポスター、リーフレットの作製

ポスター・リーフレットイメージ

看護補助者用のポスター・リーフレットのデザインは、職種のイメージができるような写真やQ&Aを掲載しました。

https://iryou-kinmukankyoku.mhlw.go.jp/outline/download/pdf/20210201_2.pdf

表面



あなたにもできる！
病院は、医師や看護師を支援する人材を求めています
【PR動画 看護補助者編】厚生労働省 / MHLWchannel
<https://www.youtube.com/watch?v=HFFTVsrkA>



厚生労働省
医療専門職支援人材確保支援事業

裏面

いま医療機関では多くの人材を募集しています

『看護補助者』とは

病院や診療所の医療機関において看護チームの一員として、看護師の指示のもと専門的判断を必要としない看護補助業務を行う職種です。看護補助者は公的な資格が必要な職種ではなく、その名称も医療機関によって「看護助手」や「看護アシスタント」「ナースエイド」などさまざまです。

1 医療現場で看護補助者が求められる背景

専門性を必要とする業務に看護師が専念するためにも、看護チーム内において看護師と看護補助者との間で適切な役割分担をすすめることが、医療機関では重要課題となっています。看護補助者は、質の高い看護を提供するチームの一員として、非常に重要な役割を担っています。

注）看護補助者が働くために必要な知識や技術に関する研修は、医療機関において行われます。

2 お仕事内容

1. 周辺業務（対象者に接しない業務）
 - ①生活環境に関わる業務
(病床および病床周辺の清掃・整頓、病室環境の調整、シーツ交換やベッドメイキングなど)
 - ②診療の補助に関わる周辺業務
(如置・検査等の伝票類の準備・整備、看護に必要な書類の整備・補充、診療の補助に必要な機械、器具等の準備・片付けなど)
2. 直接ケア
日常生活に関わる業務
(身体の清潔に関する業務、排泄に関する業務、食事に関する業務、移動・移送に関する業務など)

Q & A

 A.以前から医療関係の仕事に関心をもっていたのですが、看護師等の資格や医療に関する知識があるわけではなく、どうしてもいいかと考えていたところ看護補助者という職業を知り、ぜひやってみたいと思い応募しました。	 A.食事や入浴など患者さんが自分で出来ないことの介助をやったり、看護に必要な備品の整理などを行っています。ほかにも食事の配膳や看護師の業務の補助を行っています。	 A.患者さんと触れ合う機会が多いことから、患者さんご本人やご家族の方から感謝される事も多く、人の役に立っているのを実感することが、楽しさにつながっています。	 A.看護補助者は直接的な医療行為は出来ませんが、医師や看護師と同じく、人の命に関わる医療現場が職場です。資格がなくても、仕事の積み重ねで達成感ややりがいを感じながら働くことができます。
--	--	--	--

あなたにもできる！
病院は、医師や看護師を支援する人材を求めています
【PR動画 看護補助者編】厚生労働省 / MHLWchannel
<https://www.youtube.com/watch?v=HFFTVsrkA>

厚生労働省
医療専門職支援人材確保支援事業

2. 実施概要

⑥周知活動

ポスター・リーフレット配布先、配布数

ポスター・リーフレットの配布先は、ハローワーク、各種学校、病院向け等に配布を行いました。

配布先案	基本数	看護補助者		医師事務作業補助者	
		リーフレット	ポスター	リーフレット	ポスター
		配布数	配布数	配布数	配布数
合計	19,782	19,887	19,782	19,887	19,782
ハローワーク	544	2,720	544	2,720	544
高等学校	4,887	9,774	4,887	9,774	4,887
専修学校	3,137	6,274	3,137	6,274	3,137
各種学校	1,119	1,119	1,119	1,119	1,119
都道府県	47		47		47
市町村	1,724		1,724		1,724
病院	8,324		8,324		8,324

配布先案	基本数	看護補助者	
		リーフレット	ポスター
		配布数	配布数
合計	11,974	18,790	11,974
ハローワーク	544	5,440	544
都道府県	47		47
市町村	1,724		1724
シルバー人材センター	1,335	13,350	1335
病院	8,324		8324

2. 実施概要

⑥ 周知活動

SNSを活用した周知活動

FacebookやTwitterを活用し、PD動画サイトの周知活動を行いました。



2. 実施概要

⑧事例収集

調査概要

■ 調査方法

- ▶ デスクトップリサーチ
 - 医療機関による医師事務作業補助者や看護補助者の求人活動で効果的な取組をしている病院を調査した
 - インターネットや医療経営関連雑誌記事を対象に調査した
- ▶ 病院へのヒアリング
 - 令和元年度 厚生労働省 医療機関の勤務環境マネジメント改革支援推進事業のトップマネジメント研修において、医師事務作業補助者や看護補助者の活用によるタスクシフトの取り組みの事例紹介を行った医療機関へヒアリングを実施した

■ 調査結果サマリ

- ▶ 前提として、当該2職種の仕事探しから就職までのプロセスは求職者が住む地域の狭いエリアで完結していることが想定されるため、求職者本人のみならず、病院がある地域のハローワーク担当者や学校の就職部門等の地域全体が当該職種を認識していることが必要であり、職種の認知度向上の取り組みが重要である。
- ▶ 病院の求人活動においては、無資格であっても重要な戦力となり得ること、病院では有資格者と同等の取り扱いであること（チームの一員となること）、就職後の成長のパスが明確になっていることを打ち出すことが必要である。
- ▶ また、就職後の期待ギャップによる離職を防止するため、業務内容についての丁寧な説明が必要である。

第3章. 効果的な求人方法に関する調査結果について

3. 効果的な求人方法に関する調査結果について

医師事務作業補助者

トップからの強いメッセージによる人材活用
医療法人財団 荻窪病院（東京都杉並区）

■ 病院概要

- 病床数252床（全て一般）、医師80名の総合病院。

■ 背景

- 医師の事務作業軽減のため、2008年から導入。5人体制から開始し、現在は38名の体制。
- 医師・看護師・コメディカルと同じように患者にかかわるチームの一人であるという院長、副院長のトップからの強いメッセージが院内に浸透している。

■ 取り組み

- 採用までのプロセスは、専門学校への打診→病院見学→応募→書類選考→見学および面接。
- 専門学校へのアプローチについては、既に医師事務ならば「荻窪病院」というイメージがついており、逆に学校の就職課から人材の紹介がある。
なお、採用競争力UPのために工夫している点は以下の通り。
 - 5月～6月には学校に打診するなど、タイミングを早めている。
 - 夏休みに入る前には見学会を開催。
 - 当院で働いている卒業生が専門学校に呼ばれて就職レクチャーなどを行っている。
- 病院見学の際の工夫として、先輩の声（2～3人）に質疑応答をしてもらうことや、他の医療専門職と同等な立場で医師事務作業を行ってもらうことを説明している。
- その他の育成や待遇等については、以下の通り。
 - 看護部と同様に医師事務作業補助者のラダー的なものを整備している。
 - 基本常勤採用とし、賞与支給・昇給ありとしている。
 - 学会への発表・参加を推奨しており、外部セミナー参加も推奨している。
- 広報手段として、病院ホームページやSNS（Facebook）を活用している。
- 医師事務作業補助者について院内のモニターで流したり広報誌で紹介するなど地域の方にも認知してもらおうと取り組んでいる。

■ 効果

- 現在の医師事務作業補助者は38名で、そのうち育休・産休6名、時短2名、一定の入れ替わりはあるものの体制を維持できている。

2019年度 vol.5
荻窪病院だより

医療法人財団 荻窪病院 広報誌
2020年2月14日発行 ver.2
発行責任者: 村井 信二
企画/編集/印刷: 地域連携室

〒167-0035
東京都杉並区今川 3-1-24
代表 TEL:03-3399-1101
地域連携室直通 03-3399-0257

多忙な医師の仕事のうちの「事務部分」を
専門にサポートする医師事務作業補助者。
外来を中心に、多くの場で活躍しています。

当院での業務の際、医師のそばで
カルテ入力をしたり、患者さんご
達の説明をしている事務スタッフ
は「医師事務作業補助者」とい
る比較的新しい職種です。
医師事務作業補助者の導入で、医
師はPC画面でなく患者さんに向
き合える時間が増え、かつ多くの患
者さんを診られるようになりまし
た。今回は、患者さんにも身近な医
師事務補助者の体について
お伝えします。

専ら「医師事務作業」
業務に絞って働いては、
医師は、診療や手術など
直接患者さんと接する業務
のほかに、カルテ記載や診
断書・診療情報提供書や診
察といった、事務作業も重
大に増えています。
この部分を代行し、医師
の業務負担の軽減を図る
と生まれた職種が「医師事
務作業補助者」で、当院はし
ら早く08年から導入しま
した。

「医師は目の前の患者さ
んが第一であり、書類仕事
などはつい後回しになりが
ちで、気がついたらかなり
の山」ということも少なく
ありません。医師事務作業
補助者という職種が、医師
書を持つ患者さんのために
生まれました。と当時を語る
井澤支院院長は、ますり5人

スタッフで業務を開始しま
した。
現在は30名を超える医
師事務作業補助者が各外来
での「診察支援」、病棟回診
やカンファレンス時の「記
録作成」、診断書等の「書写
作成」を行っています。②
①

特に外来ではカルテ記載
や検査オーダーなどの代行
入力、検査同意書などの発
行、説明、さらに巡回外来
予約の目録整理などの業務は
多岐にわたります。患者さんや
ご家族も多く抱えています。
国家資格ではありません
が、医師の業務を理解、共有
できるような知識の習得は
研修は必須、32時間の基礎
研修のほか、院内での基礎
研修を重ね、学会活動も積
極的に行っています。

「満足当初は院長・副
院長の指導の下、各部署
の協力を得て手厚な検査
査定に入り、医療の支那
を学びました。医師の診
療につなぐという事務作業
補助者という仕事を介
し、地域医療の貢献に携
わられるは大変やりがい
があります。
職種の歴史は12年と浅
いですが、医師事務作業
補助者が当院にいたいたし
タアップが当院にたいしス
成長過程を共に歩んで
まわりのほかに、院内外で
す」と志村光代メディカ
ルアシスタント室長

① 医師や看護師は必ず医師の指示・承認を行います ② MA アドミナルアシスタント medical assistant の略です

3. 効果的な求人方法に関する調査結果について

看護補助者

公益財団法人 筑波メディカルセンター

■ 病院概要

- 病床数453床（一般：450床、第二種感染症：3床）
 - 一般病床450床のうち、高度急性期40床、急性期410床

■ 背景

- 看護補助者76名（うち、病院介護課46名（正規職員））。
- 看護補助者の組織は、介護・医療支援部として独立しており、他部門と並列の組織となっている。
- 長い時間を経て体制構築されたものの、人員不足を感じている。

■ 取り組み

- 複数のチャンネルを活用し、求人を行っている。
 - ハローワーク、Indeed等の求人サイト、自院WebサイトやSNSサイトへの掲載、学校訪問、デジタルサイネージでの職員向け広報などを行っている。
- ターゲットの年齢層により、メッセージを変えてPRしている。
 - 若年層：組織が独立しているため、自主的に介護に取り組むことができ、キャリアアップも可能。
 - 夜勤ができない子育て世代：残業がない。
- 看護補助者の業務説明動画の作成（現在進行中）
 - 高齢者施設での介護と病院での補助業務（身体介護）の違いを伝えることが目的。
 - 作成後は病院公式のYoutubeやFacebookでの公開を予定。
- 業務イメージのギャップを無くすため、半日体験を実施している。

■ 効果

- ターゲットによりメッセージを変えることで、応募数が増加。
- 診療部、看護部と並列の組織となっていることで、職種間の壁がなく、モチベーションのアップに繋がっている。

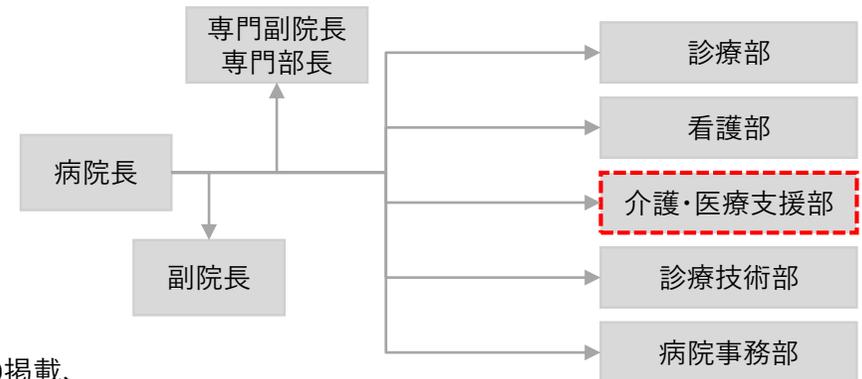


図1. 組織図



図2. 病院公式のYoutubeおよびFacebookページ

< 参考 > 介護・医療支援部の概要（筑波メディカルセンター）

介護・医療支援部の概要と沿革

介護・医療支援部は、病院介護課、医療支援課、在宅サービス課に分かれており、看護部をはじめとした他職種と連携しながら、それぞれ、病棟、外来・中央材料室、居宅介護支援事業所で日常生活の介助や診療の支援、窓口業務等を行っている。

無資格者でも専門性が身につくよう、職級や勤続年数に合わせた病院独自の教育システムがある。

年度	沿革（スタッフ数）	その他
1991	介護・医療支援部の前身である、事務部 アテンダント課発足（32名）	<ul style="list-style-type: none"> 研修計画策定 業務の明確化 マニュアル作成
2000	介護・医療支援部の設立（105名）	<ul style="list-style-type: none"> 介護技術研修 看護職と介護職の連携による援助実施基準の作成
2004	訪問介護養成講座の開講（93名）	
2009	業務、教育、人事評価の3委員会発足（126名）	<ul style="list-style-type: none"> 指導者養成研修 ヘルパー同行研修
2011	病棟アシスタント配置（106名）	<ul style="list-style-type: none"> 遅出業務開始
	2020年現在（76名）	

介護・医療支援部の業務

業務内容	日常生活の援助（食事、排泄、清潔） 診療、検査、リハビリなどの介助および補助 診療材料や器具の管理（回収、洗浄、消毒、滅菌、供給） 窓口業務 等
病棟での病務範囲イメージ	病棟では独立した部門として介護業務を中心に患者の重症度に合わせて、看護部と業務分担している。

2019年度 介護・医療支援部 教育・研修計画

対象者	研修名称
全職員	接遇
	認知症
	医療制度の概要及び急性期医療におけるチーム医療
新入職員	新人オリエンテーション
1年目	新人フォローアップ
1～7年目、8年目以降	中堅研修Ⅰ・Ⅱ
主任補～係長	リーダーシップⅠ～Ⅲ
希望者	プリセプター研修